

日本诗歌经典

冯国超 主编

内蒙古少年儿童出版社

目 录

土井晚翠

- 希冀..... (1)
自由存山林..... (3)
荒城之月..... (5)

岛崎藤村

- 遥远的旅程..... (7)
椰子情..... (9)
初恋..... (10)
白壁..... (12)

与谢野铁干

- 恋歌..... (13)

河井醉茗

- 山的欢乐..... (14)
这样的诗集谁都有一本..... (16)
交让木..... (18)

蒲原有明

- 孤独的青春魂..... (20)
茉莉花..... (22)

伊良子清白

- 漂泊..... (23)

与谢野晶子	
爱情火炬永放光芒.....	(25)
你不能去冒死.....	(25)
高村光太郎	
柠檬哀歌.....	(28)
与海鸟共欢的智惠子.....	(30)
冬天来了.....	(31)
路程.....	(32)
山村暮鸟	
人间苦.....	(33)
武者小路实笃	
给未来人.....	(35)
劳动之歌.....	(37)
要坚强活下去！.....	(38)
北原白秋	
过落叶松林.....	(40)
初恋.....	(43)
单相思.....	(44)
接吻的时刻.....	(45)
中勘助	
纺织娘.....	(47)
石川啄木	
天烛台.....	(48)
无边际的议论之后.....	(50)
释迢空	
第一个盂兰盆会.....	(52)

附歌	(54)
川路柳虹	
垃圾堆	(55)
行路人	(57)
室生犀星	
摇篮曲	(60)
在寂静的郊外	(6 1)
小景异情	(63)
春寂	(64)
青春永驻	(65)
海滨独唱	(66)
福士幸次郎	
恢复	(67)
我是太阳的儿子	(69)
三木露风	
哀伤的接吻	(71)
“爱”和“孤独”	(73)
佐藤 之助	
闪光的青年	(74)
堀口大学	
沉默	(76)
祈死	(77)
黄昏时候好	(78)
佐藤春夫	
秋刀鱼之歌	(80)
虚幻的五月	(83)

那里有一个座位.....	(84)
四条八十	
云间蜡人像.....	(86)
宫泽贤治	
不怕雨.....	(88)
永诀的早晨.....	(90)
八木重吉	
母亲的眼睛.....	(93)
我的诗.....	(94)
井伏鱒二	
岁末闲居.....	(96)
丸山薰	
忆亡母.....	(98)
坐上火车.....	(100)
三好达治	
婴儿车.....	(101)
春日古刹行.....	(103)
冈本润	
两代人.....	(104)
高桥新吉	
云.....	(106)
海.....	(107)
小熊秀雄	
马掌匠之歌.....	(108)
村野四郎	
在枯野中.....	(111)

中野重治	
北见海岸.....	(113)
火车头.....	(114)
草野心平	
给我的小兄弟.....	(116)
富士山情思.....	(118)
秋夜对话.....	(119)
山之口獭	
结婚.....	(120)
林芙美子	
尊贵的释迦牟尼.....	(122)
小野十三郎	
无处没有诀别.....	(124)
木山捷平	
玉蜀黍的胡须.....	(126)
伊藤整	
病父.....	(128)
苹果园的六月.....	(130)
伊东静雄	
抱着八月的石头.....	(132)
中原中也	
雪赋.....	(134)
井上靖	
猎枪.....	(136)
十月的歌.....	(138)
高见顺	

生和死的界线.....	(139)
立原道造	
在晚霞中.....	(140)
在傍晚.....	(142)
为了以后的思念.....	(143)
僻静的野外小路.....	(144)
黑田三郎	
那里有什么？.....	(145)
先驱者之歌.....	(146)
中桐雅夫	
短遗书.....	(147)
石垣绫	
我身前的锅与火.....	(149)
木原孝一	
远乡.....	(152)
井上光晴	
黑港.....	(154)
吉野弘	
冬天的阳光.....	(156)
金子光晴	
海蜃之歌.....	(158)
富冈多惠子	
长时间.....	(160)
高田敏子	
有一天.....	(162)
因为有我俩人在.....	(164)

公园酒店	(165)
擦拭	(166)
山冈	(168)
尾崎喜八	
存在	(169)
早春	(171)
三井二叶子	
远景	(173)
痕迹	(174)
诗情	(175)
荻原朔太郎	
野鼠	(176)
情爱	(177)
归乡	(178)
矢崎浩也	
寄大海	(179)
向日葵	(182)
中村千尾	
谱	(184)
燃烧的麒麟	(185)
高桥真理子	
初夏	(187)
岩佐东一郎	
木马馆	(189)
野田宇太郎	
仿佛遥远的太阳	(191)

柳泽健	
给暮空.....	(192)
安藤一郎	
冬梦中的花丛.....	(193)
近藤东	
她.....	(195)
世界光辉灿烂.....	(197)
片山敏彦	
在春天阴暗的黄昏.....	(199)
谷川俊太郎	
沉默.....	(200)
因为世界爱我.....	(202)
伊藤勋	
淡淡的悲叹.....	(203)
初恋之歌.....	(205)
大手拓次	
无情的春愁.....	(206)
幻恋.....	(207)
无 题	(208)
秋天的速度.....	(209)
北园克卫	
无 题	(210)
在污透的悲伤里.....	(212)
寒夜的自我照.....	(213)
村田耕作	
青春之桥.....	(214)

野口米次郎	
焰火.....	(216)
竹内照夜	
静静地走着.....	(218)
我.....	(220)
活着.....	(221)
山本太郎	
怒气歌.....	(223)
宫崎孝政	
一棵绿树枝.....	(225)
石川道雄	
围着火边.....	(227)
泉泽浩志	
地图.....	(229)
生田春月	
幻想画家.....	(231)
铭刻.....	(233)
高桥元吉	
美丽的大河.....	(235)
竹村俊郎	
孤独.....	(237)
竹叶风声.....	(238)
城左门	
在人生的半路上.....	(239)
望月奈奈子	
初恋的足迹.....	(241)

服部嘉香	
永恒	(243)
平木二六	
一个季节	(244)
多田不二	
幸福的预感	(246)
藤原定	
面对实在的春天	(248)
木岛始	
恋歌	(250)
森山隆平	
春雪之晨	(252)
路	(254)
千家元麿	
三母子	(255)
我看到了	(257)
笹泽美明	
浪漫曲	(259)
深尾须磨子	
爱之灯	(261)
村山槐多	
欢舞之后	(263)
永濑清子	
微风吹来之日	(265)
故乡有感	(267)
大木实	

洞房.....	(269)
高野喜久雄	
我.....	(271)
百田宗治	
以我们的胆识.....	(273)
井上康文	
一颗星.....	(275)
三吉	
临时包扎所.....	(277)
白鸟省吾	
傍晚的人群.....	(280)
扇谷义男	
冬天的机车.....	(282)
尾岛庄太郎	
短暂的生命.....	(284)
安西均	
花店.....	(285)
坂本辽	
春思.....	(287)
植村谛	
关于和平.....	(288)
福田正夫	
石工之歌.....	(290)
森山富士	
陋巷悲唱.....	(292)
岛崎光正	

我的上帝	(294)
川岸清子	
美丽的银河	(296)
牟礼庆子	
新的景象	(297)
许南麒	
海	(300)
藏原伸二郎	
木头疙瘩	(302)
绪方升	
天魂	(304)
金井直	
在河边	(306)
更科源藏	
父亲的歌	(308)
木下夕尔	
夜校学生	(310)
富田碎花	
自主	(311)
小田久郎	
虽说是孩子	(313)

土井晚翠

希 冀

当海面大风吹过，
白浪狂吼时，
夕月沉入波涛时，
黑暗向四面袭来时，
在天空的一边，
带引我航船的星光。

当我从漫长的人生里梦醒，
回到尸骸的土里时，
心里的苦恼终结时，
罪恶的羁绊解开时，
在坟墓的一边，
有神的声响在为我招魂！

在哀叹、烦恼、苦痛的海中，
生命之船在漂泊。

连梦里也哭泣的俗子哟，
致使人间多仇事，
风雨狂暴无停止，
要忍受，远处花香飘——

等到港口春来时，
流动的江中有言词，
燃烧的火焰有思想，
飘忽的云里有启示，
夜间的暴风雨有谏规，
人的心中要有希冀！

自 由 存 山 林

自由存山林，
每念此句心潮涌。
啊！自由存山林，
我为何离去山林？

虚荣带我走上都市之征，
十年日月在尘土中消失。
抬头眺望自由之乡，
已在云山千里之外浮动。

抬头望天外，
远处朝阳沐雪峰。
啊！自由存山林，
每念此句我心潮涌。

我心中的故乡何在？
我原是那山林的儿孙。
回望千里江山，
望我自由之乡就在云底归隐！

自由存山林，
每念此句我心潮涌。
我的故乡在山林，
云底下的最古老的幻梦。